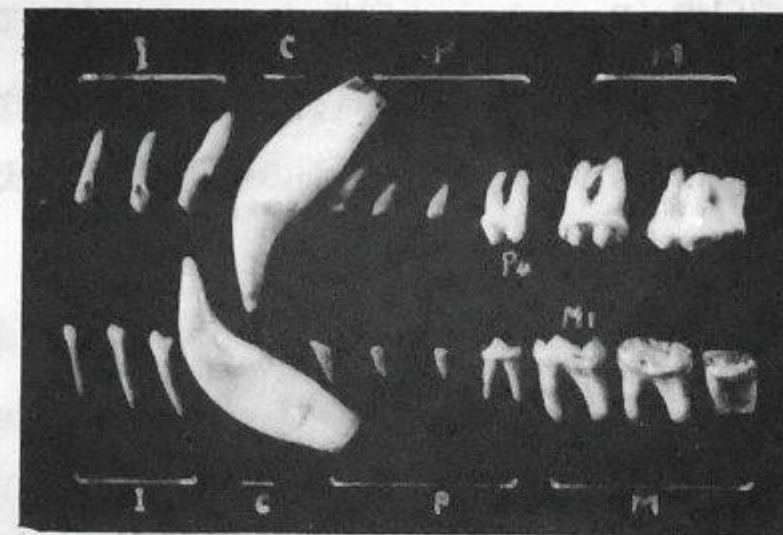


第三図 犬の歯牙 上列は上顎左側  
下列は下顎左側



第四図 ツキノワグマの歯牙 上列は上顎左側  
下列は下顎左側

参考文献

1. 谷津直秀 岩波動物辞典 岩波書店 1935.
2. Peyer Comparative odontology The university of Chicago. 1968.
3. Colbert. E. H Evolution of the Vertebrates 2nd. ed. New York 1969.
4. Albert A. Dahlberg. Dental Morphology and Evolution. The university of Chicago. 1971.
5. 動物の大世界百科 全22巻 日本メーローダ社 1973.
6. 世界動物百科 I, II, III, IV, (哺乳類), 全13巻 Asahi Larouse
7. 藤田恒太郎 歯の解剖学 医歯薬出版 1974.
8. Miller Anatomy of the Dog Saunder, London 1979.
9. 須賀昭一 歯—科学とその周辺 共立出版 1982.
10. 坂下栄作 脊椎動物の歯の構造 安部印刷所 1982.

(〒939-05 富山市水橋辻ヶ堂 576)

坂下栄作先生の日本的な歯の研究による数々の光栄

1. 昭和56年7月 日本生物教育会の推せんにより、皇居に参内、天皇陛下に拝謁
2. 昭和57年2月 日本教済研究連合会より「歯の研究」に対する表彰
3. 昭和58年10月予定 第一回富山県歯科医師会より保健文化賞

本多啓七記

富山県における天然記念物指定植物と  
代表的植物群落の分布及びそれらの特徴

本多省三・本多啓七

Natural Monuments of Plant and the Distribution of dominant Plant-Community and its Character in Toyama-pref,

Shozo Honda, Keishiehi Honda

1. はじめに

富山県の植物は高山から海岸までの地形、気温などの環境変化に応じた種類があって、しかも本州の中部に位置するため、南方系や北方系の植物も交雑した、豊富な植物地域を展開している。

このことは環境庁が昭和48年に行なった全国の自然環境保全基礎調査（緑の国勢調査）の結果、本県が北海道、沖縄に次ぐ植生自然度を保っていることによっても立証することができる。

筆者の一人、本多啓七は富山県文化財審議会委員として、本県の植物に関する天然記念物の保護と指定にあたり、そのために広く県下の巨樹、名木の調査を進めている。さらに本県の代表的植物群落についても、筆者ら2名にて調査研究を進めている。

たまたま、本県の置県100年記念事業の1つとして「富山県緑花地図」を富山県と花と緑の銀行とが共同で作成するに当り、その具体方法と資料の提供ならびにその指導にあっている。

ここにあげる天然記念物指定植物ならびに代表植物群落の分布とその特徴の解明が、今度、作成される「富山県緑花地図」の解説書的な役割りを果して、次にあげるような「富山県緑花地図」の作成による目的と作図方針が充分に発揮されることを願望しているものである。

「富山県緑花地図」の目的と構想

① 作成の目的

富山県民総合計画の基本計画の一つである「魅力ある郷土づくり」の中の県土緑花の推進の一環として県内緑花地図を作成し、これを通して県民に対する緑花意識の高揚を計る。

② 作図の基本構想

イ) 県内の天然記念物指定の植物(国、県、市町村)所在地を図上に明記して、県民に対する観察の便宜を計り、この方面の関心と認識を深める。

ロ) 県土を飾る顕著な花の地域を図上に標識して、県民に対する観察の便宜を計ると共に、この魅力ある花の実態を通して、さらによりよい郷土づくりの意欲と実践力を強める。

ハ) 県土を飾る顕著な緑の樹林の所在地を図上に明記して、県民に対し観察の便宜を計って、



健全な心身を育成する拠点としての意識を深め、さらに県民一般の緑の造成に対する積極的な協力体制を増進する。

ニ) 市町村指定の花と木を標識して、県民に一層郷土植物に対する関心を深める。

ホ) この方面の施設 その他についても記載して、県民に一層の関心と認識を深める。

この調査、研究にあたっては、富山県林政課、及び山崎信栄主幹よりなみなみならぬお世話になったことを、ここに深謝するとともに、さらに協力して下さった各機関に対し厚くお礼申し上げる。

## 2. 全国的に見た富山県天然記念物指定植物の件数と種類

### 1) 天然記念物指定植物の件数

文化財保護法の指定基準によって、本県の国、県、市町村で指定されている植物は昭和58年(1983)の富山県教育委員会文化課の調査による資料を整理すると下記の第1表の示すごとく国指定は8件、県指定は43件、市町村指定は87件となっている。これを全国的な都道府県の立場で眺めると、第2表の通り、本県の国指定の件数は8件で、順位は47都道府県の中で第33位といった下位の位置にある。件数の第1位は岐阜県、第2位は宮崎県、第3位は山口県、第4位は北海道、第5位は長崎県となっていて、植生自然度が全国第3位とある本県は山岳地帯を除いて、他の地域の植生自然度は低い傾向にあることを示している。

(参考資料)

- ①「史蹟名勝天然記念物保存法」の公布(大正8年4月)、所管は当時の内務省
- ②「史蹟名勝天然記念物保存要目」の告示(大正8年12月)
- ③「文化財保護法」の公布(昭和25年5月)、所管は内務省から文部省へ移行

天然記念物は史蹟、名勝と共に文化財の中の記念物の一部として取り扱われることとなる。なお、従来、天然記念物と書かれたものはすべて天然記念物に書き改められる。

### ④天然記念物指定規準 - 植物のみ(昭和26年5月に告示)

- (1) 名木、巨樹、老樹、畸形木、栽培植物の原木、並木、社叢 (2) 代表的原始林、稀有の森林植物相 (3) 代表的高山植物帯、特殊岩石地植物群落 (4) 代表的な原野植物群落 (5) 海岸及び沙地植物群落の代表的なもの (6) 泥炭形成植物の発生する地域の代表的なもの (7) 洞穴に自生する植物群落 (8) 池泉、温泉、湖沼、河、海等の珍奇な水草類、藻類、蘚苔類、微生物等の生ずる地域 (9) 着生草木の著しく発生する岩石又は樹木 (10) 著しい植物分布の限界地 (11) 著しい栽培植物の自生地 (12) 珍奇又は絶滅に瀕した植物の自生地

第1表 富山県における植物の指定文化財(天然記念物)一覧表

A 国指定天然記念物			B 県指定天然記念物			C 市町村指定天然記念物		
番号	名称	所在地	番号	名称	所在地	番号	名称	所在地
◎1	宮崎鹿島樹叢	朝日町宮崎	●1	下山八幡社の大藤と境内林	入善町下山字地蔵4144	○1	常光寺大ケヤキ	朝日町中町常光寺
◎2	白馬連山高山植物帯	朝日町・宇奈月町	●2	小権戸の大藤	入善町小権戸中坪2491	○2	妙輪寺サルスベリ	朝日町下町妙輪寺
◎3	杉沢の沢スギ	入善町吉原	●3	内山のとの森	宇奈月町字大尾5974	○3	昇天の松	朝日町坂新
◎4	魚津埋没林	魚津市駅通堂	●4	明日の大桜	宇奈月町明日836	○4	舟川一本杉	朝日町舟山新
◎5	十二町湯オニバス発生地	水見市十二町中南4322の1	●5	愛本のウラボシカシ林	宇奈月町愛本西爪	○5	月訪の桜	宇奈月町浦山
◎6	上日寺のイチョウ	水見市朝日本町6-8	●6	大沢の地蔵杉	魚津市大沢字前田632	○6	吉城寺の大杉	黒部市前沢
◎7	脇谷のトチノキ	利賀村栗当	●7	坪野のつなぎがや	魚津市坪野字山の谷	○7	大サザンカ	黒部市前沢1336
◎8	利賀のトチノキ	利賀村利賀	●8	立山寺参道のとが並木	上市町眼目字大平102	○8	桜井の化藤	黒部市三日市三島町
B 県指定天然記念物			●9	宮川の大けやき	上市町若杉字芋田39	○9	護国寺の松	黒部市吉田9537の4
●1	下山八幡社の大藤と境内林	入善町下山字地蔵4144	●10	立山山麓ひかりごけ発生地	立山町芦峰寺ブナ坂国有林	○10	ハマナスの自生地	黒部市石田山立野
●2	小権戸の大藤	入善町小権戸中坪2491	●11	立山山麓ひかりごけ発生地	立山町芦峰寺ブナ坂国有林	○11	ギンモクセイ	滑川市野尻68
●3	内山のとの森	宇奈月町字大尾5974	●12	芦峯雄山神社境内杉林	立山町芦峯池の尻2番地甲	○12	立山杉の古木	滑川市中野317
●4	明日の大桜	宇奈月町明日836	●13	馬瀬口の大サルスベリ	大山町馬瀬口305 天満宮境内	○13	立山杉の古木	滑川市下橋沢775
●5	愛本のウラボシカシ林	宇奈月町愛本西爪	●14	寺家のアカガシ林	大沢野町舟倉2360	○14	銀杏の古木	滑川市下大浦2949
●6	大沢の地蔵杉	魚津市大沢字前田632	●15	上黒瀬の大けやき	八尾町諏訪町247	○15	ひいらぎの古木	滑川市藤原1123
●7	坪野のつなぎがや	魚津市坪野字山の谷	●16	野積の左巻かや	八尾町水口1402	○16	門松	高塚神整割1033の2
●8	立山寺参道のとが並木	上市町眼目字大平102	●17	八尾諏訪社の大けやき	八尾町諏訪町2432	○17	水バシヨウ	立山町長倉小池3
●9	宮川の大けやき	上市町若杉字芋田39	●18	高熊のさいかち	八尾町高熊	○18	伊勢屋の大杉	立山町伊勢屋24
●10	立山山麓ひかりごけ発生地	立山町芦峰寺ブナ坂国有林	●19	今山田の大かつら	婦負郡山田村今山田	○19	芦峯寺雄山神社仲宮社叢	立山町芦峯寺池の尻2
●11	立山山麓ひかりごけ発生地	立山町芦峰寺ブナ坂国有林	●20	坂上の大杉	利賀村坂上731 八幡宮境内	○20	下田の大杉	立山町下田1
●12	芦峯雄山神社境内杉林	立山町芦峯池の尻2番地甲	●21	鉢伏のなしのき	城端町杉山8-1	○21	中村の大杉	上市町中村
●13	馬瀬口の大サルスベリ	大山町馬瀬口305 天満宮境内	●22	縄が池みずばしょうの群生地	城端町巖谷山40	○22	立山寺のねじき	上市町眼目
●14	寺家のアカガシ林	大沢野町舟倉2360	●23	権山越の彼岸桜自生地	城端町巖谷山14	○23	立山寺らかんまき	上市町眼目
●15	上黒瀬の大けやき	八尾町諏訪町247	●24	赤祖父の天然福寿草自生地	井口村川上中宇藤谷島	○24	立山寺の大権	上市町眼目1の22
●16	野積の左巻かや	八尾町水口1402	●25	巖照寺の門杉	新波市福岡217	○25	立山寺の榎木	上市町眼目1の22
●17	八尾諏訪社の大けやき	八尾町諏訪町2432	●26	運源寺の大カエデ	高岡市滝861	○26	円常寺の大権	上市町野間
●18	高熊のさいかち	八尾町高熊	●27	上麻生のあしつきのり	高岡市上麻生2027	○27	光顕寺のひいらぎ	上市町正印
●19	今山田の大かつら	婦負郡山田村今山田	●28	車田のひいらぎ	大門町車田4835-5	○28	越の彼岸桜	高岡市古城1-3
●20	坂上の大杉	利賀村坂上731 八幡宮境内	●29	西広上のあしつきのり	大門町西広上清水川川水路	○29	西海老坂神社の大杉	高岡市西海老坂624
●21	鉢伏のなしのき	城端町杉山8-1	●30	日の宮社叢	小杉町下茶2048	○30	余川古寺の桜	水見市余川字田地7326
●22	縄が池みずばしょうの群生地	城端町巖谷山40	●31	今開発の大ヒイラギ	大島町今開発1525	○31	五柱社の大杉	水見市余川6-255
●23	権山越の彼岸桜自生地	城端町巖谷山14	●32	舟のなぎのしいのき	富山市山本字田畑505	○32	磯部神社叢	水見市磯辺字中坪1045
●24	赤祖父の天然福寿草自生地	井口村川上中宇藤谷島	●33	西岩瀬諏訪社の大けやき	富山市西岩瀬131	○33	藤波神社社叢	水見市下田字勘定
●25	巖照寺の門杉	新波市福岡217	●34	底黒崎の松並木	富山市底黒崎松下割3800	○34	天池の宮ツバキ社叢	黒部市三日市天池
●26	運源寺の大カエデ	高岡市滝861	●35	専念寺の傘松	新湊市立野11-35	○35	杉谷峠の大杉	井波町杉谷
●27	上麻生のあしつきのり	高岡市上麻生2027	●36	赤丸茂井神社の大けやき	福岡町赤丸古屋5324	○36	樹津の熊野社叢	立山町樹津字新宮社
●28	車田のひいらぎ	大門町車田4835-5	●37	老谷の大つばき	水見市老谷1249	○37	大ヒサカキ	大山町東福地内
●29	西広上のあしつきのり	大門町西広上清水川川水路				○38	不動堂の大アカガン	大山町上滝法伏
●30	日の宮社叢	小杉町下茶2048				○39	シダレイチョウ	大山町善名157
●31	今開発の大ヒイラギ	大島町今開発1525						
●32	舟のなぎのしいのき	富山市山本字田畑505						
●33	西岩瀬諏訪社の大けやき	富山市西岩瀬131						
●34	底黒崎の松並木	富山市底黒崎松下割3800						
●35	専念寺の傘松	新湊市立野11-35						
●36	赤丸茂井神社の大けやき	福岡町赤丸古屋5324						
●37	老谷の大つばき	水見市老谷1249						



第2表 国天然記念物指定植物の内容一覧表

都府道名	指定植物の件数	優占種の件数		自生南北限植物		特殊群落の件数		原始林の件数	都府道名	指定植物の件数	優占種の件数		自生南北限植物		特殊群落の件数		原始林の件数
		スクイマケハチヨギスウツキキ	チヤノ	湿原群落	その他の群落	スクイマケハチヨギスウツキキ	チヤノ				湿原群落	その他の群落					
北海道	22			3	4	6			滋賀県	6	2					1	
青森県	2	1							京都府	4					1		
岩手県	13	2				3			大阪府	4						1	
宮城県	12	2				3			兵庫県	12	2					1	
秋田県	5			1	2	1			奈良県	16						7	3
山形県	12	4				1			和歌山県	7				1	2	1	
福島県	15	3		3	2				鳥取県	10						7	
茨城県	5								島根県	9	2					2	
栃木県	5	2				1			岡山県	1							1
群馬県	13					3			広島県	6						2	
埼玉県	8					1			山口県	23	2	2				6	
千葉県	9	2				3	1		徳島県	9						2	
東京都	12	3		2	3				香川県	6						1	
神奈川県	5			1	1				愛媛県	9	2					2	
新潟県	18					5			高知県	8	2					2	
富山県	8					3			福岡県	16	6					3	3
石川県	8	3				2	1		佐賀県	9							
福井県	6					1			長崎県	21						12	3
山梨県	16	3				2			熊本県	17	3					1	1
長野県	12	2				1			大分県	8						1	
岐阜県	27	6				2			宮崎県	25	6					1	6
静岡県	18	3				2			鹿児島県	14	2					1	1
愛知県	18					4	1		沖縄県	18							
三重県	14					2	6										

2) 天然記念物指定植物の種類

本県で指定されている天然記念物指定の植物は特殊な林叢あるいは草本類の自生地を除き、大方は巨大な単独木である。その樹種はスギは断然第1位、第2位はケヤキ、第3位はイタジイ、イヌグス、第4位はサクラ、第5位はイチョウといった順位である。

全国では、第1位は本県と同じくスギが断然群を抜いている。第2位は照葉樹林を代表するクスノキ群、第3位は神社、仏閣に栽植されるイチョウ、第4位は日本の温帯林を代表するニレ群、第5位は日本の二次林を代表するマツ群となっていて、日本の風土的要素が明確に表されている。

第3表 全国天然記念物指定樹木科別数比較一覧表

順位	国指定		都道府県指定		富山県指定		科内の種名
	科	件数	科	件数	科	件数	
1	スギ	49	スギ	197	スギ	21	スギ
2	サクラ	41	クスノキ	109	ブナ	13	スタジイ、ウラジロガシ、アベマキ、ブナ
3	クスノキ	31	イチョウ	82	ニレ	6	エノキ、ケヤキ、ハルニレ
4	イチョウ	27	ニレ	65	サクラ	5	エドヒガン、コシノヒガンザクラ
5	ニレ	25	マツ	60	イチョウ	4	イチョウ
6	マツ	20	カヤノキ	45	マツ	4	クロマツ、アカマツ
7	ブナ	18	サクラ	44	モクセイ	4	ギンモクセイ、ヒイラギ
8	ツツジ	16	ツバキ	32	カヤノキ	3	ツナギガヤ、イチイ
9	カヤノキ	14	ブナ	29	ツバキ	3	ツバキ、サザンカ
10	カエデ	14	モクセイ	28	マメ	2	フジ、サイカチ
11	ソテツ	12	イチイ	24	イチイ	1	イチイ
12	モクセイ	11	マメ	23	マキ	1	ラカンマキ
13	イブキ	10	イブキ	22	カツラ	1	カツラ
14	クワ	7	マキ	13	バラ	1	ハマナス
15	カツラ	7	カエデ	13	カエデ	1	ヤマモミジ、(ハナノキ)
16	マメ	7	カツラ	11	ミソハギ	1	
17	ナシ	5	コウヤマキ	10	ツツジ	1	
18	ミカン	5	トチノキ	7	モチノキ	1	
19	マキ	4	モミ	6			



順位	国指定		都道府県指定		富山県指定 市町村指定		科内の種類
	科	件数 全国 富山県	科	件数 全国 富山県	科	件数	
20	モミ	4	ツツジ	6			
21	トチノキ	4	モチノキ	4			
22	ツバキ	4	センダン	2			
23	センダン	3	ミソハギ	2			
24	イチイ	2	カキノキ	2			
25	以下1件のみ	8	以下1件のみ	43			
計		340	4	836	32	73	

### 3) 指定規準と生長限界

全国の天然記念物指定樹木の目通り幹囲（高さ1.5m）を規準として、国指定、都道府県指定を調査すると第4表のような評価規準ができる。この尺度によって、金沢大学の里見信生先生が石川県の巨樹について指定診断を行なわれた。

本県の巨樹については、国および県指定のものはこの尺度に該当するが、市町村指定の中には黒部市若栗の大サルスベリの如く、素晴らしい巨樹でありながら、指定されていないものもあるので、早急にこの調査を進めることにしている。

なお、動物は成体となると、それ以後は、ほぼその体制を維持するだけに止まるに対し植物は無限に発生が進んで体形が肥大していくが、しかし、ある年月で枯死する運命にある。本多静六先生の調査によると、第4表に示すように各樹木によって、最大生長の限界があり、また樹令においても限界があるので、指定の巨樹については、十分な管理を行なって、天寿をまつとうするようには撫育する必要がある。

第4表 樹木天然記念物指定目通り幹囲（高さ1.5m）規準と生長限界

樹種	国指定 (m以上)	都道府県 指定 (m)	最大生 長限界 (m)	樹令 限界 (年)	樹種	国指定 (m以上)	都道府県 指定 (m)	最大生 長限界 (m)	樹令 限界 (年)
イチョウ	8.0	5.0~8.0	15	1000	ツクバネガシ	5.0	3.0~5.0		
カヤ	6.5	3.0~6.5	9	1000	アベマキ	5.0	3.0~5.0		
イチイ	4.0	2.0~4.0			エノキ	7.0	4.5~7.0	9	500
イヌマキ	5.3	3.0~5.0	6	600	ケヤキ	8.0	6.0~8.0	15	1000

樹種	国指定 (m以上)	都道府県 指定 (m)	最大生 長限界 (m)	樹令 限界 (年)	樹種	国指定 (m以上)	都道府県 指定 (m)	最大生 長限界 (m)	樹令 限界 (年)
モミ	6.0	4.5~6.0	9	500	カツラ	10.0	6.0~10.0	9	600
アカマツ	5.0	3.5~5.0			クスノキ	8.5	5.0~8.5		
クロマツ	5.0	3.5~5.0	15	500	タブノキ	7.5	5.0~7.5	9	500
ヒメコマツ	3.5	2.5~3.5			ヤブニッケイ	4.0	2.0~4.0		
スギ	8.5	5.5~8.5	18	1000	シロダモ	4.0	2.0~4.0		
コウヤマキ	5.5	3.5~5.5			ウワミズザクラ	3.0	2.0~3.0		
ヒノキ	7.0	3.5~7.0	9	1000	ヤマザクラ	7.0	4.0~7.0		
サクラ	7.0	3.5~7.0			ウメ	3.0	2.0~3.0	3	300
イブキ	5.0	2.5~5.0			エドヒガン	5.0	3.5~5.0	12	500
ネズミサシ	3.0	2.0~3.0			カスミザクラ	4.0	3.0~4.0		
オニグルミ	5.0	3.5~5.0			カイカチ	4.0	3.0~4.0	6	400
ハンノキ	5.0	3.5~5.0			フジ	3.0	1.5~3.0		
イヌシデ	5.0	3.0~5.0	6	500	タラヨウ	3.0	2.0~3.0		
クリ	6.0	4.5~6.0	6	500	イロハモミジ	3.5	2.5~3.5	6	400
スヌシデ	7.5	5.5~7.5	12	1000	トチノキ	7.0	5.0~7.0	12	700
ブナ	7.0	4.0~7.0			ヤブツバキ	2.5	1.5~2.5		
アカガシ	5.0	3.5~5.0	7.5	500	サザンカ	2.5	1.5~2.5		
クヌギ	4.5	3.5~4.5	7.5	400	ヒサカキ		1.2~		
カシワ	4.5	3.0~4.5	9	500	モッコウ		2.0~		
ミズナラ	5.0	3.0~5.0	9	800	サルスベリ		1.5~		
シラカシ	5.0	3.0~5.0			モクセイ	3.0	2.0~3.0		
ウラジロガシ	5.0	3.0~5.0			チシャノキ	6.5	3.0~6.5		

### 3. 富山県の代表植物群落

#### 1) 山野の代表植物群落

第5表にあげた山野にある代表植物群落は、県下の自然環境保全地帯、あるいは神社、仏閣の境内の植物群落、さらに各種の保安林、その他の顕著な林相について現地調査を行ない、その中より郷土景観を代表するにふさわしい植物群落を選定した。但し、植樹祭の緑は本県において計



画的にスギを主体として年々植樹されたものである。

この植物群落がもっとも大きい地積を占める樹林は国有林を除いて、第6表(1)で示すごとく人工林ではスギ、カラマツ、マツ、ヒノキ、クスギなど、天然林ではブナ、マツ、スギなどである。また、国有林では第6表(2)に示すごとく、天然林の針葉樹ではアオトド、コメツガ、スギ、トウヒ、ヒメコマツ、広葉樹ではブナ、ミズナラ、カンバなどで。

その他、保安林では第7表で示すごとくで、これらの樹林は各種の効果ある働きをなしながら、県土保全その他で重要な役割りを果している。

第5表 富山県における山野の代表植物群落一覧表

1. 山岳の緑		。ウラジロモミ高木林	
。ハイマツ低木林		⑰ 薬師岳の薬師沢カベツケが原	
① 立山連峰 立山		。ハッコウダゴヨウ低木林	
② 立山連峰 五色ヶ原		⑱ 立山の弥陀ヶ原	
③ 立山連峰 北の俣岳		⑲ 朝日岳の夕日が丘	
④ 立山連峰 黒部五郎岳		。キャラボク低木林	
⑤ 立山連峰 三ツ俣蓮華岳		⑳ 立山連峰末端の僧ヶ岳	
⑥ 立山連峰 後立山連峰、雲の平		㉑ 利賀村の金剛堂山	
。オオシラビソ高木林		㉒ 八尾町の白木峰	
⑦ 立山連峰末端 僧ヶ岳		。キタゴヨウ高木林	
⑧ 立山連峰末端 大明神山		㉓ 立山の上、下子ノ平	
⑨ 立山連峰末端 立山の弥陀ヶ原		。ゴヨウマツ林	
⑩ 有峰足谷尾根		㉔ 朝日町小川峡右岸	
⑪ 有峰足谷尾根東谷源頭		㉕ 上平村高坪山	
⑫ 薬師岳山麓		㉖ 大山町鳥が尾山	
⑬ 奥黒部東沢谷の源頭		2. 山地の緑	
⑭ 黒部湖の右岸		。ブナ林	
⑮ 奥黒部高天原		㉗ 朝日町犬が岳斜面	
。シラビソ高木林		㉘ 朝日町イブリ山ブナ平	
⑯ 奥黒部の高天原		㉙ 宇奈月町僧ヶ岳山腹	

⑳ 黒部市嘉例沢森林公園	。植樹祭の緑
㉑ 魚津市片貝谷の土倉	㉙ 細入村岩稲 (S22天皇お手植スギ)
㉒ 立山ブナ平	㉚ 大山町殿様林 (S25アカマツ)
㉓ 奥黒部阿曾原	㉛ 富山市四方 (S26クロマツ)
㉔ 黒部湖左岸タンボ沢	㉜ 富山市呉羽 (S27スギ, サクラ)
㉕ 黒部湖御山谷半島	㉝ 氷見市島尾 (S28クロマツ)
㉖ 黒部湖刈安峠下	㉞ 富山市五福 (S29スギ, マツ)
㉗ 大山町瀬戸蔵山	㉟ 庄川町閑乗寺 (S30スギ)
㉘ 有峰鉢伏山	㊱ 小杉町浄土寺 (S31スギ)
㉙ 有峰大多和峠	㊲ 大山町日尾 (S32スギ)
㊱ 有峰有峰堰堤右岸山地	㊳ 八尾町館本郷 (S33スギ, アカマツ)
㊲ 神通峡東猪谷山地	㊴ 砺波市正権寺 (S34アカマツ)
㊳ 八尾町戸田峰	㊵ 魚津市上野方 (S35クロマツ)
㊴ 八尾町白木峠山麓	㊶ 福光町砂子谷 (S36アカマツ)
㊵ 利賀村金剛堂山山麓	㊷ 上市町東種 (S37スギ)
㊶ 利賀村水無山山麓	㊸ 高岡市伏矢田見山 (S38アカマツ)
㊷ 高岡市二上山	㊹ 朝日町棚山 (S39スギ)
㊸ 小矢部市猿が馬場	㊺ 氷見市十二町栗原 (S40スギ)
㊹ 小矢部市白谷山地	㊻ 立山町吉峰(林業試験上) <sup>(S41メタセコイア)</sup> <sub>ストロブマツ</sub>
㊺ 小矢部市医王山	㊼ 城端町桜ヶ池 (S42スギ, アカマツ)
㊻ 小矢部市ブナオ峠	㊽ 宇奈月町オバセ谷 (S43スギ)
㊼ 井口村赤祖父山	㊾ 砺波市頼成(全国植樹祭) (S44スギ)
㊽ 城端町高落場山	㊿ 小矢部市稲場山 (S45スギ)
㊾ 利賀村山の神峠	㊱ 魚津市小菅沼 (S46スギ)
㊿ 利賀村大崩島	㊲ 大沢野町御前山 (S47スギ)
㊱ 利賀村籠渡	㊳ 福岡町沢川 (S48スギ)
㊲ 利賀村庄川西俣谷	㊴ 黒部市嘉例沢 (S49スギ)
㊳ 平村相ノ倉	㊵ 福光町刀利 (S50スギ)
㊴ 平村上梨	㊶ 八尾町平沢 (S51スギ)



87	高岡市山川 (S52スギ)	114	福野町医王山
88	魚津市室田 (S53スギ)		◦クリ林
89	城端町細野 (S54スギ)	115	上市町伊折
90	大山町本宮 (S55スギ)		3. 丘陵の緑
91	小矢部市埴 (S56スギ, ヒノキ)		◦アカマツ林
92	氷見市阿尾森林公園 (S57スギ)	116	宇奈月町愛本橋左岸
93	滑川市東福寺野 (S58スギ)	117	黒部市若栗の天真寺
	◦スギ林	118	黒部市宮野山公園
94	入善町沢杉 (天然)	119	黒部市金屋の神明社
95	黒部峡谷支流黒雉川 (天然)	120	黒部市尾山
96	魚津市片貝川阿武木谷 (天然)	121	魚津市天神山城祉
97	魚津市角川源頭木曾平 (天然)	122	魚津市北山
98	上市町早月川上流ブナクラ谷 (天然)	123	魚津市升方城祉
99	上市町早月尾根 (天然)	124	上市町須山
100	上市町東種白山社	125	有峰の砥谷半島
101	立山美女平 (天然)	126	大沢町御前山
102	立山町岩崎寺雄山神社祈願殿	127	八尾町宮越の本法寺
103	立山町芦崎寺雄山神社	128	庄川町畑野新
104	八尾町田尾御前	129	井波町八乙女山
105	下村の加茂神社並木		◦コナラ林
106	大門町櫛田神社	130	高岡市二上山, (頼成山)
107	砺波市増山城祉		◦アベマキ林
	◦ミズナラ林	131	黒部市阿古野屋, 中陳
108	宇奈月町宇奈月公園	132	福野町安居
109	黒部市嘉例沢森林公園		◦モウソウチク林
110	滑川市東福寺野公園	133	富山市呉羽山
111	大山町与四兵エ山	134	小杉町黒河
112	細入村洞山	135	高岡市海老坂
113	細入村御鷹山		4. 低地の緑

	◦屋敷林	160	朝日町横尾の熊野社
136	黒部市若栗	161	氷見市上田神社
137	富山市開発	162	氷見市中波の火神社
138	砺波市苗加	163	氷見市脇方の分蔵神社
	5. 海辺の緑		◦ヤブニッケイ林
	◦クロマツ林	164	氷見市小境の夕日神社
139	朝日町宮崎, 泊海岸		◦タブ林
140	入善町園家山海岸	165	朝日町鹿島樹叢 ( " 道下天満社)
141	入善町舟見街道並木	166	朝日町大屋の神明社
142	黒部市飛騨の黒部川堤防	167	朝日町泊の脇子八幡宮
143	黒部市荒俣海岸	168	氷見市阿尾城祉
144	黒部市生地新治神社	169	氷見市小塚の朝日神社
145	黒部市立野海岸		6. 谷間の緑
146	黒部市大島海岸		◦ダケカンバ林
147	魚津市経田海岸	170	黒部峡谷源流
148	魚津市経田の片貝川堤防	171	朝日町朝日岳
149	滑川市の早月川堤防		◦カラマツ林
150	滑川市高塚海岸	172	黒部峡谷源流黒岩谷
151	富山市浜黒崎海岸	173	立山称名峡
152	大山町馬瀬口堤防	174	立山常願寺川源流カルデラ
153	新湊市放生津八幡宮		◦ツガ林
154	氷見市松田江の長浜	175	黒部峡谷上流
155	氷見市唐島	176	立山称名峡
	◦アカガシ林		◦クロベ林
156	氷見市古寺	177	黒部峡谷上流
157	大沢野町寺家公園		◦ドロヤナギ林
	◦スタジイ林	178	立山称名川上流水谷
158	朝日町浜山の見崎社		◦サワグルミ林
159	朝日町鹿島樹叢	179	黒部峡谷ダシ平一鐘釣右岸



180	利賀村百瀬谷	200	立山町栃津の熊野社
	◦ケヤキ林	201	大山町上滝の不動堂
181	黒部峡谷摩平	202	婦中町千里の常葉寺
182	神通峡	203	山田村牛岳社
	◦トチ林	204	八尾町桐谷
183	宇奈月町尾ノ沼	205	細入村神通峡
184	魚津市片貝谷ドンタチ	206	高岡市二上山御前下
185	大山町小見	207	小矢部市白谷
186	平村相ノ倉		◦アカシデ林
	◦オニグルミ林	208	宇奈月町中の口の石動彦社
187	魚津市奥松倉	209	宇奈月町内山の八幡社
188	大山町粟巣野	210	富山市古沢
189	立山町称名川右岸	211	細入村片掛の八坂社
190	利賀村百瀬川		◦ハルニレ林
	◦ウラジロガシ林	212	有峰西谷
191	入善町下山の八幡宮	213	細入村楡原の八幡宮
192	宇奈月町愛本橋左岸		7. 河川敷の緑
193	宇奈月町宇奈月温泉右岸		◦高木型ヤナギ林
194	黒部市朴谷	214	入善町墓ノ木
195	黒部市福平の白山社	215	利賀村中村
196	魚津市奥平沢		◦低木型ヤナギ林
197	上市町大松の神明社	216	黒部川河口
198	上市町大岩峡	217	神通川河口
199	立山町谷口の八幡社	218	庄川河口

備考

- ①高木型ヤナギ林の樹種 - オノエヤナギ, オオバヤナギ (上流地域), コゴメヤナギ (中流地域)  
 ②低木型ヤナギ類 - イヌコリヤナギ, タチヤナギ, ネコヤナギ (下流地域) ③フサザクラ林 - 魚津市角川, 大山町井田川, 利賀村利賀川の上流地域では顕著

第6表(1) 富山県樹種別森林資源表一国有林を除く(昭和58年富山県山林政課)

区分	庄			川			寺			川			通						
	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量				
総計	159,935	18,066,318	648,721	36,034	3,600,941	129,467	32,987	4,040,961	170,311	25,393	3,174,056	108,195	40,228	4,820,214	135,348	25,293	2,631,046	105,400	
針葉樹	6,206	1,652,821	80,938	0	0	0	6,206	1,652,821	80,938	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広葉樹	38,374	6,153,852	369,243	9,328	1,257,384	81,467	9,636	1,916,773	103,533	2	110	24	0	0	1	0	0	0	0
その他	271	39,443	210	54	7,657	36	140	20,240	100	18	2,929	20	30	4,957	17	29	3,660	37	
小計	2,514	173,398	8,921	1,395	98,038	4,663	176	13,988	834	99	10,549	450	579	25,865	1,870	265	24,988	1,104	
小計	1,043	42,479	3,040	205	8,309	666	273	9,178	644	200	9,348	699	118	5,369	359	246	9,075	732	
小計	42,202	6,409,114	391,411	10,963	1,371,980	86,772	10,225	1,960,079	105,111	5,932	1,047,456	58,511	7,362	1,166,753	68,344	7,700	862,446	62,673	
小計	289	23,731	869	0	3	0	288	23,544	868	1	97	0	0	59	0	0	28	1	
小計	83	7,665	183	17	1,390	27	26	1,582	66	15	1,651	40	24	2,958	47	1	84	3	
小計	372	31,396	1,052	17	1,393	27	314	25,126	934	16	1,748	40	24	3,017	47	1	112	4	
小計	42,574	6,440,510	392,463	11,000	1,373,373	86,799	10,529	1,965,605	106,045	5,948	1,049,204	58,551	7,361	1,169,770	68,391	7,701	862,558	62,677	
小計	108	53,574	175	2	606	7	0	27	3	8	4,100	5	80	43,776	146	10	5,065	14	
小計	1,600	194,880	1,332	314	44,168	401	455	48,926	286	277	34,187	243	244	30,014	216	310	37,085	186	
小計	27	9,046	68	14	4,441	53	3	1,116	5	1	373	1	9	2,933	7	0	183	3	
小計	1,727	257,000	1,576	330	49,215	461	458	50,069	294	286	38,660	249	333	76,723	369	320	42,333	203	
小計	6,192	777,333	9,038	1,812	224,567	2,501	2	694	1	0	3	0	4,334	544,598	6,457	44	7,561	79	
小計	109,442	10,591,475	255,644	22,804	1,953,766	30,706	21,868	2,003,693	63,971	19,159	2,066,189	49,395	28,175	2,629,213	60,131	17,228	1,718,594	42,441	
小計	115,634	11,868,908	264,682	24,704	2,178,353	42,207	21,960	2,004,387	63,972	19,159	2,066,192	49,395	32,509	3,373,721	66,588	17,272	1,726,155	42,520	
小計	117,361	11,625,898	266,256	25,034	2,227,568	42,668	22,449	2,054,456	64,266	19,445	2,124,852	49,644	32,842	3,450,444	66,957	17,592	1,798,488	42,723	

※ スキップの数字はボックス内数である。



第6表(2) 富山県樹種別森林資源表—国有林(昭和58年富山県営林署)

区分	樹種	面積 ha	材積 m <sup>3</sup>	成長量 m <sup>3</sup>
人工林	スギ	2261.19	134,772	8,029
	ヒノキ	1094	779	7
	アカマツ	0.70	42	2
	カラマツ	28.73	1,449	106
	トドマツ	0.16	12	ナシ
	シラベ	0.47	35	1
	トウヒ	1.55	117	4
	その他	0.16	12	1
	活葉樹	160.89	1,482	415
	計	2464.79	152,020	8,565
天然林	スギ	1877.01	163,948	428
	ヒノキ	99.79	7,752	112
	アカマツ	4.95	254	5
	ヒメコマツ	1235.02	141,878	138
	カラマツ	77.982	117,409	ナシ
	アオトド	3421.59	519,224	15
	トドマツ	38.27	3,062	3
	コメツガ	2,663.56	346,204	52
	トウヒ	1815.99	282,430	7
	ネズコ	453.67	48,497	7
その他	1,502.65	199,694	100	
天然林	ブナ	17,418.98	204,459.7	5,372
	クリ	11.48	541	19
	ミズナラ	565.445	540,369	2,271
	サワグルミ	2.280	1,508	33
	カンバ	1895.89	257,250	97
	ウダイカンバ	3.05	141	6
	ミズメ	38.62	4,756	3

区分	樹種	面積 ha	材積 m <sup>3</sup>	成長量 m <sup>3</sup>
天然林	ハンノキ	5440	4080	8
	ケヤキ	1697	4057	23
	ホノキ	3207	1546	19
	カエデ	6236.3	62,003	111
	トチ	4298	2,842	43
	その他	16884.67	144,095.8	9,558
	計	56,592.31	619,200.0	18,430
合計	59,057.10	634,402.0	26,995	

第7表 保安林(昭和58年富山県林政課)

(1) 保安林種別現況表

種別	水源かん養	土砂流出防備	土砂崩壊防備	1~3号計	飛砂防備	防風	潮害
面積	41,668	38,819	470	80,957	90	54	2

種別	なだれ防止	魚つき	航行目標	風致	保健	4号以下計	合計
面積	1,873	68	1	25	(4,990) 28	(4,990) 8,141	(4,990) 83,098

注 1. ( ) は、水源かん養及び土砂流出防備保安林と兼種指定で、外数である。

2. 昭和58年1月末現在数

備考

①豪雪地帯である富山県では耐雪性のタテヤマスギの成長量の顕著であることがうかがわれる。

②日本海側冷温帯の樹種を代表するブナの成長量も顕著である。

③内陸性気候下に生育するカラマツは、豪雪地帯に適応しないことを立証している。

④なだれ防止のためにブナ林やトチ林が禁伐林として、山間部ではよく保存されている。



(2) 保安林整備計画の実行状況

実施期間 49年度～58年度

保安林の区分	昭和48年度末保安林面積 (A)	整備計画指定目標面積 (B)	整備計画解除面積 (C)	整備計画完了後の面積 (A)+(B)-(C) (D)	昭和49～58年1月末指定面積 (E)	昭和58年1月末指定面積 (A) + (E)	進捗率 (E) / (B)	昭和58年度以降指定計画面積 (B) - (E)
	ha	ha	ha	ha	ha	ha	%	ha
水かん	37,155	7,176	—	44,331	4,581	41,736	638	2,595
土流	34,085	1,771	—	35,856	3,805	37,890	214.9	(-)2,034
土崩	388	35	1	422	0	388	0	35
計	71,628	8,982	1	80,609	8,386	80,014	93.4	596
保健	—	5,783	—	5,783	5,018	5,018	86.8	765
その他	1,906	1	1	1,906	1	1,907	100.0	0
計	1,906	5,784	1	7,689	5,019	6,925	86.8	765
合計	73,534	14,766	2	88,298	13,405	86,939	90.8	1,361

2) 代表の花群落

花群落については、本県の各地に造成されて名所となっているサクラ林、田園地帯を飾る園芸物、特産物の花畑、あるいは山野の自然を色どる顕著な花の群落を第7表にてあげた。

(1) 人里の花

本県のサクラの名所は人為的にソメイヨシノを栽植してできた群落であるが、最近では、昔からババザクラと呼ばれて、神社の境内にあって保護されているエドヒガンザクラを栽植する運動がおきている。この樹種は県下の山地に自生していて、花は美しく、品格があり、生育もよく、さらに樹齢が長い特徴を備えている。県下では野生種の群落は少なく、山谷地帯に点在するベニヤマザクラ、群生地としては、城端町蓑谷の蠟山のコシノヒガンザクラ、立山の美松坂のタカネザクラなどは見事である。

(2) 園芸物、特産物の花

大正年間の春の田園地帯の風物は緑肥として重要視されたレンゲソウの紅紫色の花、または採油用に栽培されたアブラナの黄色の花の展開であった。

今日では、上述のような一般的な花の展開はなく、地域別の特産物による花となった。この

代表花群落としてあげたものは、富山県農業水産部園芸特産課の発刊による「富山の園芸」に記載されている「特産の里」より栽培面積の広いものを拾いあげて作成したものである。

(3) 山の花

高い山で包囲された富山県の山は、残雪のある浅春からユキツバキ、カタクリ、タムシバ、ミズバショウなどの花が咲き出す。山麓地帯では、各所にミズバショウ群落の自生地があるが、ミツガシワ、ヤナギラン、フジアザミなどは貴重な群落となっている。初夏の標高1500mあたりの山地を一面に黄赤色の花で飾るゼンテイ群落は、山岳地帯の美しいお花畑の前ぶれの役を果たしている。

(4) 野の花

富山県には河川が多く、清流にそって白い花崗岩質の砂礫がむき出しになっている。この河川敷にはアキグミ群落が繁茂していることが特徴である。小さい白色の小花が咲き出す初夏の候には、一種特有の花の香りが漂って、秋の赤い実の頃とは違った趣きがある。

神通川、庄川などの大河川の中下流の河川敷は砂まじりの泥土であるためアキグミ群落はなく、セイタカアワダチソウ、オオハンゴンソウ、ムシトリスミレなどの帰化植物の大繁茂地帯となっている。最近では、これら河川敷は、運動公園に、また神通川では、特に富山空港敷地として利用されてきた。

(5) 海辺の花

海辺は海蝕から守るため護岸堤によって保護されたが、その反面、海浜植物が繁茂できる海辺が少なくなり第9表1)にあげた砂浜の個所も今は減少の一路を辿っている。今後は人為的に海浜植物公園を設置して、海浜植物群落の復元を計ることが是非必要である。

第9表(2)は、富山湾の海蝕に対する防御と、海浜植物の生育地がわずかのマツ林によっていることを示すものである。

第8表 富山県における地域別代表花群落

人里の花	
1. サクラの名称	⑥ 黒部市東三日市の天神社境内
① 朝日町城山公園	⑦ 魚津市鹿熊城址
② 朝日町小丸山	⑧ 滑川市東福寺野公園
③ 朝日町舟川堤防	⑨ 富山市磯部堤防
④ 黒部市宮野山運動公園	⑩ 富山市松川べり
⑤ 黒部市黒瀬川堤防	⑪ 富山市呉羽山公園
	⑫ 大山町大川寺公園



⑬	大沢野町神通川第1, 2ダムサイト	④①	ゼンテイカ群落	朝日町僧ヶ岳の仏ヶ平		
⑭	大沢野町寺家公園	④②	ゼンテイカ群落	八尾町白木峰		
⑮	大沢野町春日公園	④③	ゼンテイカ群落	利賀村金剛堂山		
⑯	八尾町城ヶ山公園	④④	ゼンテイカ群落	上平村人形山		
⑰	高岡市古城公園	④⑤	タムシバ群落	立山連峰山麓		
⑱	小矢部市城山公園	④⑥	ミズバショウ群落	黒部市嘉例沢森林公園		
⑲	小矢部市倶利伽羅山	④⑦	ミズバショウ群落	魚津市片貝の池尻の池		
⑳	福岡町岸渡川堤防	④⑧	ミズバショウ群落	上市町浅生の流れ池		
㉑	福野町安居寺公園	④⑨	ミズバショウ群落	上市町高峰山山麓		
㉒	福光町小矢部川河川公園	⑤⑩	ミズバショウ群落	上市町護摩堂		
㉓	砺波市上和田	⑤⑪	ミズバショウ群落	立山町城前		
㉔	砺波市千光寺	⑤⑫	ミズバショウ群落	立山の弥陀ヶ原		
㉕	庄川町舟戸公園～弁財天公園	⑤⑬	ミズバショウ群落	大山町栗巣野		
㉖	井波町古城公園	⑤⑭	ミズバショウ群落	有峰の折立		
㉗	城端町桜ヶ池	⑤⑮	ミズバショウ群落	奥黒部の高高原		
㉘	城端町野下の神明社通り	⑤⑯	ミズバショウ群落	城端町縄ヶ池		
㉙	水見市朝日山公園	⑤⑰	ミズバショウ群落	利賀村定倉谷		
2. 園芸物特産物の花				⑤⑱	ミズバショウ群落	利賀村水無平
⑥⑩	はず(れんこん)	魚津市出	⑤⑲	ザゼンソウ群落	魚津市片貝谷上流	
⑥⑪	りんご	魚津市加積	⑥⑩	ザゼンソウ群落	山田村高清水	
⑥⑫	なし	富山市呉羽	⑥⑪	ミツガシワ群落	上市町釜池	
⑥⑬	なし	高岡市和田・上北島	⑥⑫	ヤマボウシ群落	朝日町境川上流	
⑥⑭	チューリップ	砺波市庄下	⑥⑬	ヤマボウシ群落	井ノ口村赤祖父山	
⑥⑮	かのこゆり	魚津市長引野	⑥⑭	ヤナギラン群落	常願寺川上流	
⑥⑯	チューリップ	入善町青木, 小摺戸	⑥⑮	フジアザミ群落	上市町鍋増谷	
⑥⑰	チューリップ	滑川市中村	⑥⑯	フジアザミ群落	利賀村利賀川上流	
⑥⑱	チューリップ	高岡市是戸	⑥⑰	カタクリ群落	宇奈月町スキー場	
3. 山の花				⑥⑱	カタクリ群落	砺波市五谷
⑥⑲	お花畑	立山連峰, 白馬連峰	⑥⑱	ヤマツツジ群落	魚津市天神山	
⑦⑰	ゼンテイカ群落	朝日町朝日岳	⑦⑰	ヤマツツジ群落	黒部市嘉例沢森林公園	

⑦⑱	ツバキ群落	宇奈月町愛本	⑦⑱	アキグミ群落	常願寺川中・下流			
⑦⑲	ツバキ群落	魚津市奥松倉七枚平	5. 海辺の花					
⑦⑳	ツバキ群落	上市町片地池	⑦⑳	ハマナス群落	水見市島尾			
4. 野の花						⑦㉑	海浜植物群落	入善町園家山
⑦㉑	アキグミ群落	黒部川中・下流	⑧⑰	海浜植物群落	黒部市大島			
⑦㉒	アキグミ群落	片貝川中・下流	⑧⑱	海浜植物群落	水見市島尾			
⑦㉓	アキグミ群落	早月川中・下流						

第9表(1) 富山県海岸線の海蝕状況

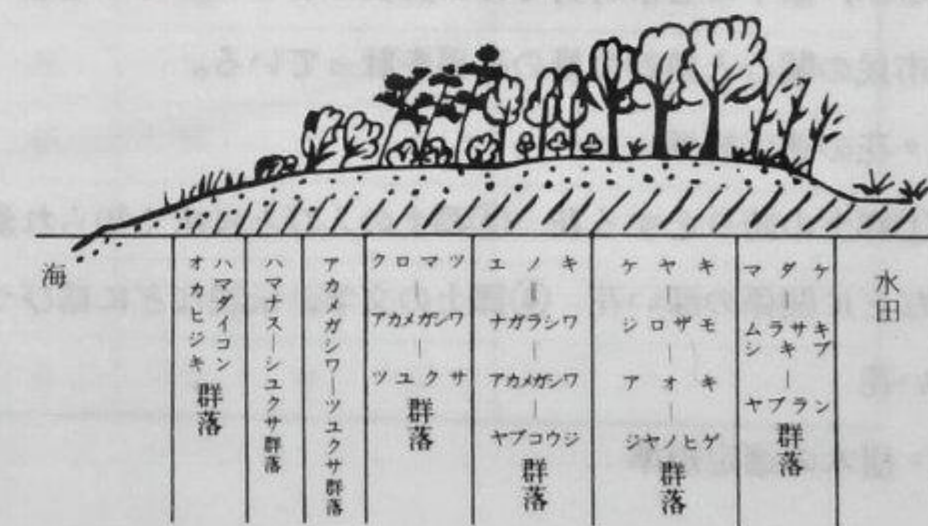
昭和48年調査(富山第一高校生物クラブ)

地域区分	海岸状況 背後景観	砂 浜			コンクリートブロック柵			護 岸 堤			計
		林	水田	人家	林	水田	人家	林	水田	人家	
泊			3.0		1.5	7.0					11.5
青木						7.0					7.0
三日市		3.0	2.0	2.0		1.5	1.0			5.0	14.5
魚津			1.0			1.0	4.0				6.0
滑川			3.0	3.5		2.5				5.0	14.5
富山港			1.5	1.5			5.5			2.5	11.0
伏木		3.0					3.0			7.0	13.0
宇波						2.5					4.0
水見						5.0					5.0
蛇ヶ島							6.0				6.0
計		6.0	10.5	8.5	1.5	26.5	19.5			19.5	2.0

単位: km

絶滅した黒部市石田海浜の植生図(本多)

。右記の植生は海蝕防止のための護岸堤  
その他の原因でなくなった。





第9表(2) 海岸保全事業実施状況(昭和57年調査 富山県河川課)

海岸延長144.8kmのうち各所管別延長及び施設は次表のとおりである。

所管別	海岸延長(m)	保要指定区域延長(m)	未指定延長(m)	海岸指定済区域延長(m)	海岸保全施設のある区域						有効区域の総延長(m)	摘要	
					堤防(m)	護岸(m)	小計(m)	突堤(基・m)	離岸堤(基・m)	消波工堤(m)			水門(箇所)
建設省	(53,238) 53,238	50,976	2,032	48,944	26,344	11,318	37,662	基 377 m 9,389	基 137 m 11,017	23,244	4	41,207	
運輸省	(22,109) 67,807	18,850	0	18,850	13,699	1,885	15,584	基 180 m 3,262	基 41 m 4,892	13,936	2	16,697	
農林水産省	(19,273) 23,825	15,550	0	15,550	3,685	9,332	13,017	基 90 m 2,437	基 32 m 2,736	7,975	5	13,880	
計	(94,620) 144,870	85,376	2,032	83,344	43,728	22,535	66,263	基 647 m 15,088	基 210 m 18,645	45,155	11	71,784	

注) ① 海岸延長は港湾区域、漁港区域内については港湾施設、運河等の施設沿いに測定した延長。

② 海岸延長の( )書は、港湾、漁港については、港口巾を測定した延長。

4. 富山県における市町村の木・花木・花

富山県では、下記のような選定規準によって、樹木はタテヤマスギ。花はチューリップをあげているが、県下の各市町村では第10表のように、その地域の特徴ある植物をあげて、郷土植物に対する市民の関心と植物愛護の高揚を計っている。

・花の選定規準

①郷土の誇りとする花 ②郷土の人びとに広く知られ愛されている花 ③郷土の産業、観光、生活などに関係の深い花 ④郷土の文学、伝説などに結びついている花 ⑤その地方に見られる珍しい花

・樹木の選定規準

毎日新聞社が昭和41年11月、国土緑化推進という趣旨から「緑の日本復活」を標語として、各地の住民投票によって決定したものが参考にされている。

第10表 市町村の木・花木・花

	木	花木	花
富山県	タテヤマスギ		チューリップ
魚津市	松	ツツジ	カノコユリ
滑川市	松	ツツジ	菊
黒部市	クロベ(黒松)・マツ	ツツジ	ユリ
宇奈月町	カエデ	シャクヤク	イワウチワ
入善町		コブシ	
朝日町	ヒメコマツ	ツツジ	
富山市	ケヤキ	ツバキ	アザミ
大沢野町	松		サルビア
大山町	小原杉	ツツジ	
舟橋村	マツ	サツキ	
上市町	モミ	ツツジ(サツキ)	リンドウ
立山町	立山杉	サツキ	菊
八尾町	マツ	ユキツバキ	
婦中町	サンゴジュ	ツツジ	
山田村	カツラ	ユキツバキ	
細入村	アカマツ	サザンカ	菊
高岡市		越の彼岸桜	アジサイ
新湊市	黒松		ケイトウ
氷見市	ツママ	ツツジ	ユリ
小矢部市	宮島杉(ボカスギ)	紅梅	ショウブ
小杉町	スギ	ツツジ	キク
大門町	ヒイラギ	コブシ	カワラナデシコ
下村	モチ	ハギ	
大島町		梅	
福岡町	サクラ	ツツジ	



砺波市	増山杉		チューリップ
城端町	越の彼岸桜		ミズバショウ
平村	キリ	ツツジ	
上平村	ブナ	シャクナゲ	
利賀村	トチ		ササユリ
庄川町	ユズ	江戸彼岸桜	ヤマブキ
井波町	桜	ツツジ	雪割草
井口村	ブナ	ツバキ	フクジュソウ
福野町	モミジ	ツツジ	
福光町	三社柿	医王シャクナゲ	

5. 富山県における樹木景観の変遷

県土の緑は樹木景観が主体をなすが、大正年間より昭和の初期までの平野部の景観をあげるに、街道にはマツ並木、用水路に沿って地域によりハンノキ、トネリコ、スギ、クロマツなどのタチバサの並木、また点々と散在するカイニヨと呼ぶスギの屋敷林、奥山から一気に水を流す河川には大水害から石積みの堤防を守るための、アカマツやクロマツ、その背後地のハンノキなどからなる護岸林、河川敷にはアキグミ低木林、街村の後背地にはケヤキ林、神社、仏閣の森、山のクリ林、ナラ、アカマツなどの林といった樹木景観は大変に豊かであった。

この樹木景観は、徳川時代に前田藩が七木の制度によって樹木を大切にすることを大衆に植えつけたこともあるが、当時までは、これらの樹木景観が生活に密着していた。例えば、「地震のさいにはタケ藪に逃げこみなさい」、「大洪水のさいに若栗の天狗林が抜けると町が野になる」、「大水から家を守ってくれるのはタケ藪だぞ」などといった話である。

以上のような樹木景観と人間生活の調和を破ったのは、大戦による樹木に対する接し方の心理的大転換でなかろうか。農業生産を優先とする政策は陰樹伐採の制度を生んだ。その結果、マツ並木、屋敷林、鎮守の森すべてが増産の敵として伐採することが正当化された。また戦時体制下において、巨木のきり出が行われた。戦士を見送る思いで伐採された巨木が出された光景を忘れることは出来ない。また、屋敷林は屋内に入りこむ日光を妨げるものとして、健康管理上から伐採が奨励されたこともいなむことの出来ぬ時代であった。

現在、この樹木景観は非常に単調となっている。過去は、樹木景観の中に潜む自然制御の力を人間生活に結びつけて、調和のとれた安定した景観を築いていたように思われる。

それに対し、現代は科学技術の力で、自然制御の方向が強くなってきて従来の樹木の役割りを

おしげもなく排除している。しかし樹木景観の中に経済的打算の他に、人間生活に欠くことのできない、精神的、肉体的な環境の重要性が最近発見され、森林浴、ストレス解消の緑とうたわれてきたことがこれを物語っている。

今後は、温古知新の思いに立って、新しい樹木景観の構想のもとに、人類の英知の結晶である科学技術を駆使して、理想的な人為による造成の樹木景観を展開して、その中で充実した豊かな生活を営む時代となることを期待するものである。

第11表 旧下新川郡の往還松の年代別分布変化 (本多啓七調査)

総計	船見泊	愛本舟見	三日市愛本	分布日間調査順					樹種	片側
				泊境	入善泊	三日市入善	魚津三日市	早月橋魚津		
145	6	11	18	7	8	51	32	12	I	山手側
26	1	6	1	1	0	4	12	1	II	
10	1	5	1	1	0	2	0	0	III	
8	1	4	1	1	0	1	0	0	IV	
34	2	0	31	0	0	0	1	0	I	海手側
4	0	0	3	0	0	0	1	0	II	
2	0	0	2	0	0	0	0	0	III	
1	0	0	1	0	0	0	0	0	IV	
179	18	11	23	6	13	74	27	7	I	合計
23	1	5	0	0	1	8	6	2	II	
10	0	5	0	0	0	3	0	2	III	
7	0	3	0	0	0	3	0	1	IV	
49	4	1	40	0	2	2	0	0	I	計
3	0	1	2	0	0	0	0	0	II	
2	0	1	1	0	0	0	0	0	III	
1	0	0	41	0	0	0	0	0	IV	
324	24	22	1	13	21	125	59	19	I	計
49	1	10	1	1	1	12	18	3	II	
20	1	10	1	1	0	5	0	2	III	
15	1	7	71	1	0	3	0	1	IV	
83	6	1	1	0	2	2	1	0	I	計
7	0	1	5	0	0	0	1	0	II	
4	0	1	3	0	0	0	0	0	III	
2	0	0	2	0	0	0	0	0	IV	

(注) 調査年月日 I - 昭和16年4月 III - 昭和46年7月  
II - 昭和31年6月 IV 昭和54年8月から12月まで



## 6. 富山県民の樹木に対する習俗

富山県の住民にとって、常に眺める樹木は単に第三者的なものではなく、何か心の支え、希望のシンボルとなってきたことが、次にあげるような習俗によってうかがうことができる。

### 1) 農家の庭に植えられた一本のモミの木

農家のカイニヨと呼ぶ屋敷林には子や孫が家を建てるさいのの用材として、スギ、ケヤキ、クサマキ（植物学上はヒノキアスナロ）、またタケ藪もあって、各種の桶の修理、稲穂を干すハサ、タケ垣の材料とされた。この中にあって、唯一本、前庭に俗称トガの木と呼ぶモミが植えられていた、この樹木の成長は、その家の繁栄を誇るシンボルとして保護され、堂々たる貫禄を示していた。この樹木は能登、氷見地方に自生地があって、この方面との文化交流の遺産とも考えられるが、現在は神社、仏閣の境内のみとなった。

### 2) 巨樹の根元に祀られた屋敷神

町家の背戸には大きいケヤキの藪があって、その庭にはヂンヂンサマと呼ぶ小さい祠が大木の根元にあった。この大木を神代として、降神の聖地としていたようである。

### 3) お宮のない神社

氷見にはアキバサンと呼ぶ、鳥居と森からなっているお宮がある。鎮守の森の原型とみられる。

### 4) 在家に植えぬイチョウ

イチョウは神社、仏閣の境内に植えられるが、民家の庭には、位負けして貧乏するとのことで植えない習慣があった。

### 5) お寺の境内に必ず植えられる樹木

お寺の山門近くにはサルスベリが植えてある。開花期が長いので百日紅とも呼ばれているが、寺院を飾る花として歓迎されたものか。大山町馬瀬口の天満宮にある県指定のサルスベリの巨樹などは神仏混交時代の遺物とも考えられる。また、タイサンボクに似た樹形のタラヨウも欠かすことの樹木になっている。経文を葉に傷つけて書いたインドのやし科の一種、多羅樹から引用した和名であるが、別名モンツキシバとも呼ばれるように、アオキなどと同じく、葉面を火であぶると黒い環が現われ、また傷つけると傷あとが黒くなるので、昔はこの葉で、何かのメモがわりにした伝統を仏教思想と結びつけたものか、有難い樹木とされている。

### 6) 名僧の巡錫を物語る奇蹟樹木

行基菩薩、弘法大師、親鸞聖人などの名僧がおいでになったさいに起った樹木による奇蹟を立証する樹木、種子が黒く焦げたカキ、数株の玉をヤナギの葉で包んだような形の果実の塊りのボダイジュ。釈尊が成道されたさいの聖樹はくわ科のインドボダイジュであって、この樹形も中国からわたってきたボダイジュとは全然違っているが、数株とヤナギ葉の組合せは奇蹟を生むに好

適であったようである。次にツナギガヤがある。これは中部地方一円のお寺関係で保護されていることを現地で見つけたが、この特徴は枝に裏がえりの葉の部分があること、種子に糸を通すような穴があることで、この樹木は多産性で、よく果実が成り、種子は食用、油用にされるので地方人にとっては貴重な存在であったものと思われる。この樹形によって、タチツナギガヤ、ハイツナギガヤのあることを中部地方一円の調査で確認することができた。

### 7) 自然林を残す神社の境内

本県の丘陵地帯や扇状地帯にある神社の境内には、自然林の断片を止めているものが多いが、これは、立派は自然林自体を鎮守の森として畏敬した名残りとも考えられる。

## 摘 要

1. 富山県下で天然記念物に指定されている植物は国8件、県43件、市町村87件となっている。
2. 指定されている主な植物の種類は、海岸地域ではスタジイ、イヌグス、ヤブツバキなどの暖帯性植物、平野地域ではスギ、ケヤキ、イチョウなど、また丘陵地域ではエドヒガン、スギ、ケヤキなど、山地地域では主にトチで、これらは温帯性植物である。  
特に、これらの所在地は神社、仏閣の境内、その他、信仰的な聖地に多く、自然植生の断片として、あるいは由緒ある名木として保護されているものが多い。
3. 富山県の植物群落は可成りあって、環境庁の自然環境保全基礎調査によると、植生自然度は全国第3位である。
4. 代表的植物群落は高山地域から山地、丘陵、さらに海岸地域に及び、その間には峡谷、扇状地域もあって、変化に富み、それら植物群落は各種の保安林として、あるいは神社、仏閣の境内林として温存されている。
5. 富山県では、自然の浄化、修景の立場から人工による造成林が漸次増大している。

## Natural Monuments of Plant and the Distribution of dominant Plant-Community and its Character in Toyama-pref.

Shozo Honda

Keishichi Honda

## Summary

1. The appointed numbers as national monuments of plant are 8 (national level), 43 (pref. level), 80 (city-town-village level)
2. The major kinds of appointed plants are worm-temperate-plant at coastal zone ;



Pasaniopsis sieboldii (Makino) Kudo, Machilus thunbergii Sieb. et Zucc., Camellia japonica Limm. and temperate-plant at plain; Cryptomeria japonica (Limm. fil.) D. Don, Zelkova serrata (Thunb.) Makino, Ginkgo biloba Limm. and temperate-plant at hill land; Prunus pendula Maxim. forma ascendens (Makino) Ohwi, Cryptomeria japonica (Limm. fil.) D. Don, Zelkova serrata (Thunb.) Makino and temperate-plant at mountaivous zone; Aesculus turbinata Blwne.

Especially the places of shrine and temple, and devoted areas have the fragmeuts of natural vegetation or the famows planted trees, and are conserred.

3. According to the fundamental survey of Natural Environment Consevvation by the Environment Agency, the natural vegitation degree in Toyama preb. is 3rd in our country.

The dominant 180'S plant communities are selected as the representative of the green Toyama pref.

4. The dominart plant Communities are conserved from the mountaw zone to hillland, at coostal and valley areas as protection forest, or as the forestof shrine and temple.

5. In Toyamapref the artificial plant communities are gradually increased from the po-int of view that cleanse the nature or do landscape arclritecture.

参 考 文 献

1. 本多静六編 (1913) : 大日本老樹名木誌
2. 下新川郡役所 (1909) : 下新川郡史稿 上巻
3. 本多啓七 (1949) : 富山県東北部植物誌 (文部省研究奨励費)
4. 文化庁編 (1975) : 天然記念物事典
5. 緑地研究会 (1976) : 社寺林の研究 (富山県)
6. 富山県 (1977) : 富山県の植生
7. 富山県 (1978) : 第2回自然環境保全基礎調査特殊植物群落調査報告書
8. 文化庁編 (1979) : 日本民族文化財事典
9. 石川県林業試験場 (1982) : 石川県の巨樹
10. 富山県教育委員会 (1983) : 富山県の文化財 (県指定編)
11. 富山県 (1983) : 富山県民総合計画

(〒938 黒部市三日市3687 本多省三, 本多啓七)

本 会 記 事

昭和57年度

4月24日(土) 第340回 総会並びに研究発表会

於 富山市科学文化センター

昭和56年度事業・会計報告

昭和57年度事業計画・予算案審議

研究発表

日本産陸産等脚類の分類と分布

布村 昇 (富山市科学文化センター)

5月16日(日) 第341回 例会 氷見・山寺の竹林, 二上山の自然を探る研修会

8月24日(火)~26日(木) 2泊3日の現地研修会

第342回 例会 利賀村での日本蘚苔類学会全国大会へ後援参加

10月17日(日) 第343回 例会 黒部市の大島海岸のクロマツ林植生, 嘉例沢森林公園の  
ブナ林植生をさぐる研修会

11月20日(土) 第344回 定例研究発表会 於富山市科学文化センター

1. 食肉類の歯牙について — 坂下 栄作

2. テングサ場のエビの生活史について — 堀井直二郎

3. キナベル山における植相の垂直分布について — 佐藤 卓

4. 日本のスミレについて — 塩谷 佳和

5. 富山県の天然記念物指定植物の分布と特徴について — 本多 啓七

3月12日(土) 第345回 役員会 於富山大学理学部小林研究室

今年度の反省と新年度の事業計画について

昭和58年度事業計画案

1. 総 会 4月23日(土) 発表オーストラリアとニュージーランドの自然 — 本多啓七

2. 野 外 研 修 (1)5月8日(日) — 氷見, 能登 (2)10月30日(日) 称名滝周辺

(3)8月 ~ 笹倉温泉一泊二日 焼山

3. 研究発表会 11月19日(土)

4. 会 誌 発 行 昭和59年3月

5. そ の 他